

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2002-504017(P2002-504017A)

【公表日】平成14年2月5日(2002.2.5)

【出願番号】特願平11-503281

【国際特許分類第7版】

B 0 1 J 19/00

B 0 1 J 19/24

【F I】

B 0 1 J 19/00 Z C C Z

B 0 1 J 19/24 Z C C Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月10日(2005.6.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 换 正 書

平成17年6月10日

特許庁長官 小川 洋 殿

1. 事件の表示

平成11年特許願第503281号

2. 補正をする者

名称 アーゴノート テクノロジーズ、インコーポレイティド

3. 代理人

住所 〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル

青和特許法律事務所 電話 03-5470-1900

氏名 弁理士(7751)石田 敬



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙の通り補正します。

7. 添付書類の目録

請求の範囲

1通

請求の範囲

1. 複数の反応容器保持開口を有するフレームと、複数の弁とを具備し、前記反応容器保持開口と前記弁とが互いに整列しており、各弁が該弁を通って流体を運ぶことができる開いた位置と、流体が前記弁を通ることを阻止する閉じた位置との間で移動可能である合成装置。
2. 前記弁の各々が第一シール面を有する第一弁部分と、第二シール面を有する第二弁部分とを具備し、前記第一シール面と第二シール面とが互いに対して摺動するように移動可能である請求項1に記載の合成装置。
3. 前記第二弁部分が前記弁の開いた位置に対応する第一位置と前記弁の閉じた位置に対応する第二位置との間で移動可能な別個の流通キャップを具備する請求項2に記載の合成装置。
4. 前記第一弁部分が第一マニホールド通路と第二マニホールド通路とを画成し、前記流通キャップの各々がバイパス通路を画成し、前記バイパス通路は前記流通キャップが第二位置にあるときに前記第一マニホールド通路を前記第二マニホールド通路に接続し、前記弁が閉じた位置にあるときに前記第一マニホールド通路と前記第二マニホールド通路と前記バイパス通路とがU字形の通路を画成する請求項3に記載の合成装置。
5. 前記第一弁部分が一つの部分からなる流体マニホールドを具備する請求項2に記載の合成装置。
6. 前記流体マニホールドに取り付けられる弾性材料からなる別個の層を具備する請求項5に記載の合成装置。
7. 前記反応容器保持開口内に複数の反応容器を具備するとともに前記第二弁部分を前記第一弁部分に向かって独立して付勢する手段とを具備し、一つの反応容器内の過剰な圧力が残りの反応容器に影響することなく排出されるように前記独立して付勢する手段と前記第一弁部分と前記第二弁部分とが個々の圧力解放機構として機能する請求項2に記載の合成装置。
8. 熊手形の部材の運動によって前記弁を同時に作動するための該熊手形の部材に前記弁が連結可能であり、該熊手形の部材が前記弁に係合するための複数のピンを有する請求項1に記載の合成装置。

9. 組合せ合成装置とともに使用するためのコンテナであって、内部空間と開いた頂部とを有する反応容器と、該反応容器の開いた頂部に設けることが可能な流通キャップとを具備し、該流通キャップが外側シール面と、前記内部空間を向いた内面とを具備し、該流通キャップがこれら外側シール面と内面との間で延びる第一流路と第二流路とを画成するコンテナ。

10. 前記流通キャップが前記外側シール面上の互いに離間した位置で該外側シール面上で開口するバイパス通路を画成し、前記互いに離間した位置がバイパス距離だけ隔てられている請求項9に記載のコンテナ。

11. 第一位置と第二位置とにおいて第一流通路と第二流通路とが前記外側シール面に対して開口し、これら第一位置と第二位置とが前記バイパス距離に等しい距離だけ隔てられている請求項9に記載のコンテナ。

12. 前記バイパス通路が前記流通キャップの前記外側シール面上に溝を具備する請求項11に記載のコンテナ。

13. 前記流通キャップが前記組合せ合成装置のシール面に対して該流通キャップを回転するための径方向へ延びる延長部材を有する請求項9に記載のコンテナ。

14. 組合せ合成において使用するための反応容器の内部空間にアクセスするための方法であって、各々が第一弁部分と第二弁部分とを具備する複数の弁に整列せしめられる複数の反応容器を具備するフレームにアクセスする工程と、前記第一弁部分の各々の通路に流体源に連結された流体導管を摺動して係合する工程と、前記第二弁部分に連結された熊手形の部材を移動することにより前記第二弁部分を同時に回転することにより前記複数の弁を同時に作動し、これにより対応する反応容器の内部空間へアクセスできるように前記第二弁部分の通路を対応する第一弁部分の通路に整列させるように各第二弁部分を移動する工程と、前記流体導管からの流体を前記反応容器の内部空間に流入させる工程とを具備する方法。

15. 前記第一弁部分の第一通路および第二通路にバイパス通路を整列するために前記第二弁部分を同時に回転する工程と、対応するバイパス通路を介して各第一通路からの流体を対応する第二通路に流す工程とをさらに具備する請求項1

4に記載の方法。

16. 各第二弁部分を回転することにより前記第一弁部分の前記第一通路および第二通路とともにU字形の通路を画成するようにバイパス通路を整列する請求項1-4に記載の方法。